

たすねてみたら

No.101



培ったパソコンの  
技術を活かして

米川 雄一さん  
旧陣屋2

パソコン教室の講師をされてい  
ると伺いましたが、教室について  
お聞かせください。  
友人の誘いで昨年の11月からパ  
ソコン教室を始め、講師を務めてい  
ます。昨年10月、「広報かさまお知ら  
せ版」に土曜日コースと火曜日コー  
スで受講者を募ったところ、予想を  
上回る30人以上の応募がありまし  
た。70歳を目前にしてパソコン講師  
という気持ちもありましたが、いざ  
ふたを開けてみると受講者の皆さ  
んは、元気がつらつとした学習意欲  
旺盛な70歳代と思われる方が8割  
ほどでした。緊張した気持ちで第1  
回目の授業に臨んだところ、受講生  
の皆さんから説明の音が聞こえな  
い、大型テレビに映したパソコン画

面が見えないなど指摘を受け、厳し  
いスタートとなりました。受講者数  
の限度は各コース10人程度を想定  
していましたが、15人と多くしたこ  
とが要因でした。各コースをふたつ  
に分けて受講者数を半分の7人程度  
に抑えて授業を進めることにしま  
した。授業も回を重ねていくと内容  
が少し難しくなったのか、受講生も  
徐々に減り授業スピードも落ちて  
きました。コース全6回で終了する  
予定でしたが10回に延長し、2月現  
在15人の受講生が頑張っています。  
初めてのパソコン教室講師でし  
たが、受講生それぞれの理解度の違  
い、キーボード操作の慣れ具合など  
授業の進め方の難しさを痛感して  
います。

一番人気

自然観察会

日本一美しい古墳と  
紅葉真つ盛り 秋の太田原路

雲日で肌寒い日となった11  
月22日65歳以上の高齢者を対  
象とする「自然観察会」があ  
った。今回初めてという方も  
多く参加者は43人。

栃木県大田原市にある「な  
す風土記の丘湯津上資料館」  
と下侍塚古墳（前方後方墳と  
いう形）の散策、雲巖寺、法  
輪寺等を訪ねた。

なす風土記の丘湯津上資料  
館では、西暦700年頃建立  
された、日本三古碑のひとつ  
で、国宝・那須国造碑（レ  
プリカ）があり、碑文からは  
歴史上重要なことがわかると  
学芸員は説明した。

この碑が建立された、約  
一〇〇〇年後、水戸光圀公は  
後世に伝える大事なものと  
して碑堂の建立を実施。古碑の  
主の解明のため近くにあつた



▲雲巖寺朱塗りの橋

上・下侍塚古墳の発掘をする。こ  
の発掘調査が日本初の考古学的発  
掘調査となったという。  
学芸員の案内で、徳川光圀の命  
で発掘された下侍古墳に登った。  
墳丘に美しくアカマツが植えられ  
ているのは、発掘調査後保護を施  
したものと説明があった。  
参加者の皆さんは興味深い話に

聞き入ったり、質問したりした。  
雲巖寺は臨済宗妙心寺派。禅宗  
の四大道場と呼ばれた。長い階段  
を登りその奥の階段を少し登ると  
修業道場らしき建物があった。皆  
さんは修業の尊さを感じ静かに見  
入った。  
また朱塗りの橋で吉永小百合さ  
んがCM撮影をした場所は、紅葉  
の時期、とても美しく多くの人が  
カメラを向けていた。

慈覚大師の開基と伝えられる由  
緒ある法輪寺には、木製の大天狗  
面（高さ2・14m、幅1・5  
m、鼻の高さ1・3m、重さ1  
t）があり、日本一であることや  
鳥居のある寺であることを知っ  
た。

バスの中では、こぶしの会の羽  
生委員長が、終始見学先の案内を  
してくれました。参加者の多くが歴史  
がよくわかってよかったです、話し  
ていた。  
帰りの車中では、羽生さんが自  
身の誕生日であることを告げると

参加者の皆さんはハッピーバース  
デーソングを歌い祝した。  
★参加者の感想  
○自然観察会企画が大変よかつ  
た。その説明（車中での）が私の  
心をときめかし学習効果を上げ、  
大変楽しかった。歴史の学は何歳  
になっても有難たく目を輝かせて  
くれる。羽生さんに感謝します。  
また元気であれば参加したい。  
M・I

令和初めての  
お正月配食

1月16日新年お楽しみ配食が行  
われた。当番は女性部5班（大田  
町）の皆さん。  
女性部役員は前日から準備をし、  
当日は5班の皆さんと共に正月  
らしく、きれいでおいしいお弁当  
作りに腕を振った。

まちづくり宍戸塾ホテルの里委  
員会が作ったもち米は赤飯になり  
栄養バランスもよいお年寄りにや  
さしいお弁当が出来上がった。  
こぶしの会メンバーは、女性部員  
手作りの心のこもったお正月お弁当  
12月8日「フェスティバルin冬  
の陣」が開催された。

宍戸駅踏切をわたり、宍戸小学  
校へ向かう約400mが歩行者天  
国となり、道の両側には、近隣地  
区から合わせて46の店が並んだ。

ありがとう  
フェスティバルin  
冬の陣



▲ステージで踊る

○目的までのバスの中で、見学先  
の説明をしていただったので、歴  
史の苦手な私もすーっと入ってき  
て、楽しく過ごさせて頂きました。  
雨の寺めぐりもしつとりとして  
よかったです。ありがとうございました。  
○企画お疲れ様でした。初めて夫  
婦で参加させて頂いた頂きました。  
紅葉がきれいででした。お昼もおい  
しかったです。

声を持ってお年寄り宅へ向かった。  
煙や物置小屋へも行く。お弁当を  
受けとったお年寄りの笑顔で「あ  
りがとう」の言葉に、こぶしの会  
メンバーからも笑みがこぼれた。



▲手渡すお弁当

チャリティーそば会場では、そ  
ば打ち大会で日本一となった仲山  
徹さんの打ったそばを求めて多く  
の人が並んだ。  
地域への貢献を図る友高生は、  
友高饅頭と抹茶の店を出し、又  
祭りの実行委員らと共に、祭り  
の運営にあたるなど若い力を発  
揮した。

中ほどのステージでは、様々  
な出し物が目を引き最後の福ま  
き祭りでは大勢の人で賑わった。  
夜には花火も打ち上げられ多く  
の人が祭りを楽しんだ。  
イベント実行委員会から支部  
社協に1万円の寄付があった。



# 友部高校と宍戸

旧陣屋2 雨谷 高市

創立42年目の県立友部高校は宍戸に生まれた高等学校です。

友部高校との縁は社協の地区懇談会を担当してからで、5年になります。

ここ何年か入学志願者数の減少等が続く、このままでは高校の存在が危ういとの声をきいたこともあります。もちろんそういう状況を高校自身が座して見ている訳ではありません。

現在 **TOMBE TOMOVE** (躍動する友部高校) をスローガンに、地区懇談会に於いても先生方が熱弁をふるっていました。

友部高校は学校改革に向けて動き出しています。スクールガイドでは、独自科目の設定、ゴルフ部の新設、少人数制授業の導入等、生徒に微に入り細にわたるメニューを提供しています。これだけの熱い思いに満ちた高校は必ず変わり、生徒たちも

期待に込めてくれるものと確信します。

フェスティバルin冬の陣2019では、20人近い友高生がスタッフとして参加してくれました。ステージでは吹奏楽部の演奏が華を添え、友高饅頭や焼き菓子の販売、茶道部による抹茶の提供等、訪れた方々に元気でほのぼのとする光景を演出してくれました。

商店街でも観光地でもないこの地に、毎年多くの皆さんが訪れてくれるのも友部高校による力が大きく作用しているからと感じます。朝夕多くの友高生が宍戸駅に集まります。先生方も顔をみせます。何げない日常の中で友高生と地域の皆さんとの触れ合いがあります。

宍戸に県立高校がある。その高校が宍戸という地域と共に歩み、共に感動する地域密着型の高校としてさらに発展し、地域の誇りと高校は必ず変わり、生徒たちもなっていくことを期待しています。

10月15日第36回宍戸地区高齢者グラウンドゴルフ大会が北山グラウンドで開催された。参加選手は79人。12日夜、県内を通過した台風19号の降雨は北山グラウンドにも影響を及ぼした。湿ったグ

## 第36回 GROUND GOLF

### 飛ばないボールにため息



#### ▲上位表彰者

表彰者 (敬称略)		スコア
☆男性の部		
1位	仲野 清	37点
2位	大根 静雄	38点
3位	阿部 忠孝	40点
☆女性の部		
1位	臼井 豊	42点
2位	永井 淑子	42点
3位	羽鳥 政江	46点

(同スコアの場合、高齢者が上位)

ラウンドでは、思うようにボールは飛ばない。選手の多くが最悪の状態と嘆いた。それでもホールインワンは21人。最高齢94歳の大島敏子さんも元気に参加した。平均スコアは48・8であった。男性・女性の部とも大田町選手が1位を獲得した。

## 三世代ふれあいの集いを感じる

下加賀田 田口光一

10月26日三世代ふれあいの集いが宍戸小学校で行われました。

三世代ふれあいの集いは児童、保護者と地域の人々のふれあいを目的に毎年開催しています。

前半は吹奏楽部の演奏から始まり、各学年の発表が行われました。6年生は宍戸小学校の最上学年としてとても素晴らしく迫力のあるパフォーマンスでした。そしてその6年生に続けと5年生、4年生が頑張りました。各学年とも日頃の練習の成果を発揮していました。

後半は縦割班での活動です。各学年の児童が話し合っって決めた福笑いやボーリングと社協の方々を準備してくれた昔遊びを楽しみました。

次はおまじかねの昼食です。高学年が田植えをし収穫したもち米をお赤飯と、低学年が収穫したサツマイモと地域の方々に頂いた野菜を各学年の保護者が作ってくれたけんちん汁を子どもたちと楽しく会話をしながら食べることが出来ました。



▲輪投げを教える

この三世代ふれあいの集いは多くの地域の

方々に協力をして頂いて成り立っています。これからもこの素晴らしい活動を続けて行けるように、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。(宍戸小PTA会長)

## 福祉推進員視察研修に参加して

八幡下 T・T

10月10日福祉推進員視察研修に常陸那珂火力発電所では最先端技術の設備を見学することが出来た。電気が必須である現代社会で火力発電の負っている使命、石炭火力であるがゆえの課題と環境負荷の低減が欠かせない。この為600℃という超々臨界温度による高効率発電と、バイオマス燃料の投入そして脱硝、集塵、脱硫の排ガス処理の

高い技術によって解決していると感じた。又これらの技術進歩がエネルギーと環境問題の改善に大きく寄与するものであるという思いを強くした。

幕末と明治の博物館は周囲の松林に調和した流線形の建物が印象的だった。幕末にペリーや外国船の来航が多くなり海防の為徳川斉昭の側用人だった藤田東湖は攘夷の政策立案に貢献し、吉田松陰や西郷隆盛らにも大きく影響するのであるが、残念ながら安政の地震で犠牲になってしまった。その後、井伊直弼は將軍の後継者擁立や政策の相違で対立した徳川斉昭を隠居、謹慎させ、又幕府を批判・反対する吉田松陰や多くの志士を投獄・処刑するという弾圧を行った。この安政の大獄がもとで井伊直弼は桜田門外で襲撃されるのである。水戸藩では尊王攘夷で

ある改革派(天狗党)と保守派との対立が激しくなりついに筑波山で藤田東湖の子である小四郎らが拳銃し、朝廷に志を伝えるために福井まで行軍したが幕府の追討軍につかまり処刑されてしまった。その後、攘夷が倒幕運動に転化し大政奉還され新しい日本が誕生することとなるのである。博物館では展示品からこのようなことの現実味が増してきて大変興味深く見学することができた。

## 絶景展望ロビー—女性部研修

11月29日、女性部の研修があった。参加者は39人。水戸市にある県庁展望台・県議会議事堂や大洗の「大洗磯前神社」を訪ねた。県庁舎25階にある展望ロビーは地上約100mにあり、今年7月にリニューアルオープンした。ガラス張りであり、東西南北水戸市内が見渡せる。澄み渡った秋空、遠くに富士山を見ることができた。皆さんは新しい展望ロビーから見る景色に見入っていた。

シアターでは「茨城の祭り」が放映され、龍ヶ崎の撞舞や石岡のお祭り等を見た。議事堂では、笠間市から選出の村上・常井議員の席に座わり、本会議の様子を想像した。大洗磯前神社では、856年、民を救うために天から降りてきた神を祀ると言う本殿前で手を合わせた。



▲展望ロビーからながめる



宍戸小での思い出  
大谷 奈々  
松山南団地

ある改革派(天狗党)と保守派との対立が激しくなりついに筑波山で藤田東湖の子である小四郎らが拳銃し、朝廷に志を伝えるために福井まで行軍したが幕府の追討軍につかまり処刑されてしまった。その後、攘夷が倒幕運動に転化し大政奉還され新しい日本が誕生することとなるのである。博物館では展示品からこのようなことの現実味が増してきて大変興味深く見学することができた。

小学校に入学した時は、不安な気持ちでいっぱいでした。でも、たくさんの方々と、お兄さん、お姉さんたちがいてくれて、私は少しずつ学校生活に慣れていく事が出来ました。3年生からは、1クラスという、最も少ないクラスで過ごしてきました。5、6年には、高学年としての自覚を持ち、低学年を引っぱって行くよう、クラス全員で心一つに団結していきましました。私たち6年1組には、学級歌があります。私は、その学級歌でクラス全員の歌声と、担任の先生がひくギターの音が、一つになっているのがわかります。6年1組が、大切にしている、絆、団結。宍戸小学校の合言葉「あおい」を卒業してからも、大切にしていきたいと思います。

私は、この小学校6年間という生活の中でたくさん学び、たくさん思い出を作ってきました。長いようで、短い日々を大切に悔いなく過ごしていきたい、仲間の大切さを忘れずに、これからもみんなでがんばりたいです。中学校でも、一人一人が学んだ事をしっかりと出し切っていきたいです。(小6)